



学校だより

冬休み号

泉区緑園五丁目28番

TEL (811) 6710

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

「ありがとう」感謝の気持ちを伝えよう

～12月人権週間によせて～

学校長 副島江理子

12月に入り、いろいろなお客様の来校が続きました。皆さん、口々に「子どもたちが、本当に明るくのびのびとしていますね。楽しそうに活動していますね。そして、言葉かけが優しいですね。」とおっしゃいます。また、各学年の多様な掲示物にも一様に驚かれます。私も子どもたちの様子や掲示物を見に行くと、元気で優しい子どもたちの様子が伝わってきてこちらが嬉しくなってしまいます。

思い返すと、夏休みの後半に感染症が拡大して、夏休みの延長、1か月に及ぶ分散登校と、緊張感に覆われた夏休み明けのスタートでした。10月に一斉登校が始まってからは、6年生の修学旅行を皮切りに、「最後の」運動会、全校なかよし活動、1、2年生の遠足（3年生は1月に社会科見学の予定）、4、5年生の宿泊体験学習と、延期になっていた行事も含めて、すべて滞りなく取り組むことができました。

10月からの子どもたちの充実ぶりに、子ども一人ひとりが本来もっている力は、仲間と共に活動することでより一層大きく発揮されることを実感しました。無事に明日から冬休みに入ります。保護者、地域の皆様のあたたかいご支援があったからこそ、ここまで子どもたちが元気に過ごし、充実した学校生活を送ることができました。ありがとうございました。

緑園東小学校では、毎年12月の「人権週間」にいろいろな取組をしてきました。今年も「あいさつ運動」や「5、6組との交流活動」、各委員会の取組等を行いました。また、中核となっている「緑園子ども会議」では、～「ありがとう」感謝の気持ちを伝えよう～のテーマのもとで、今までの取り組みが紹介され、年度末までの新たな取り組みについて話し合いました。

今年度、子どもたちの活動の中心となっているのは「感謝の気持ちを伝える」です。緑園東ラストイヤーとして、子どもたちは、自分の身近の方々だけでなく、自分たちの活動場所だった学校そのものに対して、また、新しい学校を建築している工事関係者の方々へと感謝の気持ちをひろげるようになりました。それぞれの学年が日常的に「感謝の気持ちを伝える」取り組みをしているほかに、各委員会も活動を考えています。

例えば、保健委員会は、全校児童一人ひとりの「ありがとうカード」を集めて、大きな「ありがとう」表示をつくっています。給食委員会は、自分たちの昼食を担ってくださっている方々への「ありがとう俳句」を募集しています。図書委員会が選んだ「人権週間におすすめの本」の中に「ありがとう」のテーマの本がいくつもあります。

子どもたちの様子を見ていると、自然に感謝の言葉が出るのは、何かに一生懸命打ち込んでいるときです。達成感や自分の成長を感じた時、子どもは感謝の思いを素直にもつことがわかります。そして「自分たちが一生懸命にがんばって成長することが感謝の気持ちを表すことだ」という子ども自身の言葉の通り、行動で表そうとしていきます。日々の学校生活の中で、子どもたちが互いに豊かに関わりながら、充実して活動することの先に、互いへの感謝が生まれるのだと思います。

明日からの冬休み、各ご家庭でお子さんと過ごす時間も増えると思います。ご家庭の中でもお互いに感謝を伝え合う時間をとっていただき、ご家族でそれぞれの存在の素晴らしさを実感する幸せな冬休みとなりますことを願っております。

年明け後も、このままよい方向に向かっていくことを心より願っております。どうぞ皆様もご健康に留意され、佳き新年を迎えられますようお祈り申し上げます。来年も引き続きよろしくお願い申し上げます。